



広 報 誌
令和3年1月
第 57 号

済生会 まつやま



菜の花（東温市見奈良）

目 次

年頭のご挨拶.....	2	私のお気に入り	6
コロナ下の日常生活の注意点	3	令和2年度火災訓練	6
副看護部長になって	4	クリスマス会開催	6
部署紹介（リハビリテーション科）.....	4	マグロとアボカドのわさび醤油和え	7
連携病院紹介（おおぞら病院）	5	WEB面会のお知らせ	7
愛媛県警察本部「健康づくり教室」.....	5	無料低額診療事業のご案内.....	7
世界糖尿病デー.....	5	外来診療日一覧表	8

済生会 松山病院



松山病院キャラクター
なでしーさん

年頭のご挨拶

院長 宮岡 弘明



明けましておめでとうございます。

この年末年始は自宅あるいは実家で静かに過ごされたことと思います。



新型コロナウイルス感染症

昨年は新型コロナウイルス（以下コロナと略します）に振り回された一年でした。当院の対応を振り返ると

- 2月10日 帰国者接触者外来開始
- 3月4日 小中高校休校にともなう臨時子ども預かり開始
- 4月2日 面会制限開始
- 4月8日 新型コロナ対策会議設置（毎週水曜日に対策会議開催）
- 4月28日 ドライブスルーによる検体採取開始
- 5月7日 遠隔診療電話再診開始
- 11月16日 発熱外来開始
- 12月15日 サーモカメラ設置
- 12月16日 新型コロナ院内発生時のシミュレーション実施
- 12月17日 入院患者さんのWEB面会開始

です。

愛媛県では3月2日に第一事例目が発生し、12月31日までで149事例、471人の陽性者が確認されています。幸い当院職員の感染はありませんが松山市内では複数の医療機関や福祉施設でクラスターが発生し他人事ではありません。医療機関では無症状の保菌者から感染してクラスターになったことが多数報告されています。愛媛県で確認されたコロナ感染症の8割は松山市であり、誰からでも感染し、誰にでも感染させる可能性があると考えて行動する必要があります。

コロナ感染拡大により人の動きが抑制され、経済活動は著明に低下しました。病院経営的にも昨年は大変厳しい一年で、外来数・入院数ともに2月から激減しました。10月には持ち直したかのようにりましたが11月からのコロナ第三波のため再度減少しています。

オンライン会議・オンライン学会

コロナ感染拡大は便利なことをもたらしたと考えることもできます。オンライン会議、オンライン学会です。現地に行かなくても病院あるいは自宅で会議や学会に参

加でき、時間的・経済的負担が軽減されました。オンデマンド講演の視聴では聞きたい講演を何度でも繰り返し聞くことができ、また従来であれば同時刻に開催されていた複数の講演を別々に聞くことができ、より見識を深めることができたと思います。今後コロナが収束したとしてもオンラインの利便性は捨てがたいので、現地参加とオンライン参加のハイブリッド開催が続くと思います。

コロナワクチン

2月下旬からコロナワクチン接種が始まると言われています。コロナワクチン事業はこの国難を乗り切るきっかけになるでしょう。1月になって愛媛県から新型コロナウイルスワクチン接種対応医療機関の希望調査がきました。県は「地域ごとに、規模の大きな医療機関において、近隣の医療機関の従事者を含め、集団的に接種を実施することを想定している」という方針です。松山西部地区唯一の公的医療機関である当院は当然その役目を果たさなければなりません。最大限の協力をしたいと思っています。この文章が手元に届くころには具体的な手順が作られている（あるいはワクチン接種が始まっている）でしょう。

自分の趣味を持とう（伸ばそう）

コロナの感染拡大でいろんな社会活動が制限されました。その結果自分の時間が増えたと思います。一方歓迎会、忘年会、新年会、送別会をはじめとする会食はほぼ皆無になりストレスは著明に増えました。「コロナうつ」という言葉も出てきました。家で何もせず閉じこもり続けるのは良くないので自分にあった趣味を見つけましょう。もともと自分の趣味を持っている人はそれを伸ばし、自分自身を見つめなおして新しい趣味を見つけることも楽しいと思います。

コロナ感染拡大自体は克服すべきことですが、新しい生活様式に順応して自分なりに楽しみを見つけ、来年には「あんなことがあったなー」と言えるようにになりたいものです。

中島みゆき「時代」

今はこんなに悲しくて
涙もかれ果てて もう二度と笑顔には
なれそうもないけど
そんな時代もあったねと
いつか話せる日が来るわ
あんな時代もあったねと
きっと笑って話せるわ
だから今日はくよくよしないで
今日の風に吹かれましょう
まわるまわるよ 時代はまわる
喜び悲しみくり返し
今日は別れた恋人たちも
生まれ変わってめぐりあうよ



新年あけましておめでとうございます。昨年は、予想もしないコロナ禍で、日本中（世界中）が大変なことになり、当院も大きな影響を受けました。患者さんや職員の皆さんのご協力でなんとか日々の運営が行えておりますことを深謝いたします。



さて、新型コロナウイルスによる問題は、新型コロナ肺炎や、味覚異常、嗅覚異常などの直接的な病状変化で、ご高齢の方や合併症を持っている方には大きな問題となっておりますが、実はそれだけではなく、過剰な自粛によってずっと自宅から外に出ない・運動ができていない・病院やスーパーに行くのも怖い等の理由が重なって、体調を崩したり病状の変化を来したりしている方が増えていることがわかりました。

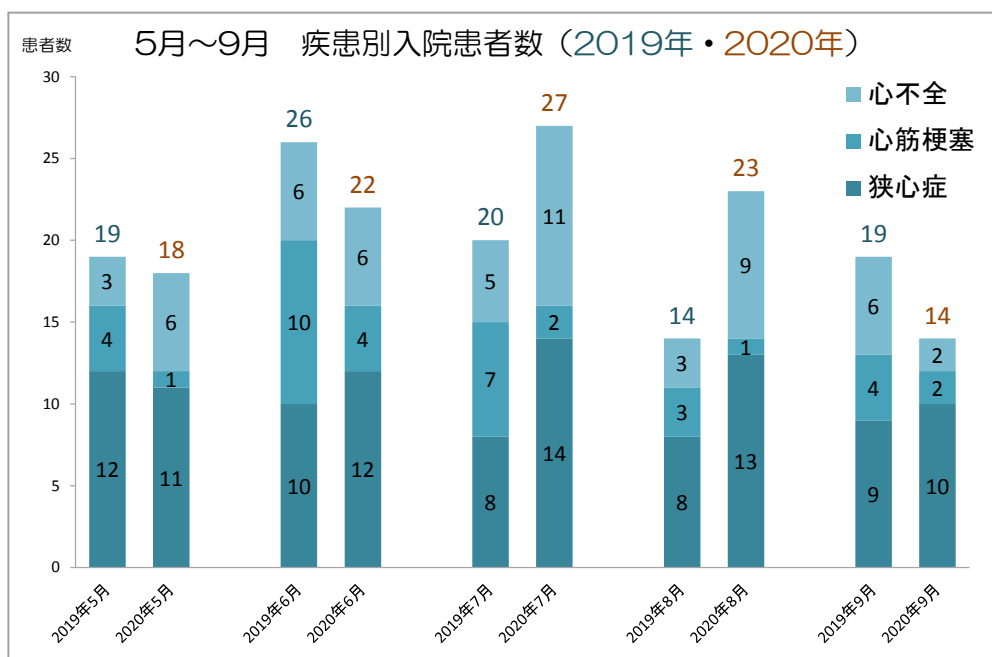
最初に現れてきたのが糖尿病の悪化です。通院患者さんの外出控えや受診控え、一部の患者さんでは治療薬が途切れたりして血糖コントロールの悪化が懸念されていきました。また、運動を控えたために急速に筋力が低下した高齢者や、感染への不安からうつ状態に陥る人、経済状態が悪くなり仕事がなくなってアルコール依存症が

悪化した患者さんなどがおられて、糖尿病の状態の悪化が更に懸念されています。当院糖尿病内科の梅岡二美医師より2020年7月12日の愛媛新聞に掲載された内容を要約すると、①糖尿病のあるなしでは新型コロナへの感染率には差がない ②血糖コントロールが良好な場合の死亡率は糖尿病でない人と同等 ③コントロール不良の場合には感染リスクが高くなり、重症化しやすいと説明されています。つまり、ま

ずはこれまで通りの治療をしっかりと継続し、適度な運動や規則的な生活を続けておくことが大事であることを力説されていました。

次に起こってきたのが心血管イベントの増加です。糖尿病の悪化は目に見える形（HbA1c、尿検査等）で早期に現れますが、心血管イベントはそれから数か月遅れて起こってきます。前述したように、高齢の患者さんが散歩や過度の外出自粛をした結果足腰が弱り、続いて心・肺機能が低下してきます。その状況下で風邪をひいたり、急に動いたりすることで一気に心不全や呼吸不全につながるケースが増えています。2020年10月30日の愛媛新聞にも掲載させていただきましたが、心疾患による緊急入院は例年、春先の年度替わりの時期や気温が下がる10～2月ごろに増加し、夏場は減少傾向です。しかし、当院で2020年5～8月に緊急入院した心不全、心筋梗塞、狭心症の患者数を集計したところ、5、6月が前年より少ない20人前後で、7月が27人と増加。8月は23人に減少したものの、前年の14人を大きく上回っていました。全国的に正確な実態をとらえるには時間がかかるので、まだ正確なデータは示されていませんが、外出自粛や受診控えの影響が3、4か月かけて心機能や呼吸機能に悪影響を及ぼしたことを示している可能性が十分あると考えられます。

冬場になり、新型コロナの再燃（第3波）と寒さのために外出が減ることが懸念されます。人通りが少ない場所での散歩や軽い運動や柔軟体操などを常に意識し、必要な通院はこれまで通りに続けて、しっかりと治療の継続をお願いします。当院は感染対策に真摯に取り組んでおり、感染リスクを最小限にするための努力を最大限に行っています。もし不調を感じた場合には、迷わず当院への受診をお願いいたします。



副看護部長になって

副看護部長 井上 信彦

今年度から副看護部長職を兼任するようになりました。まだ、副看護部長としての役割は何一つできておらず、自分にできることは何かについて考えるだけの日々が続いています。もとより、長い間管理を任されている手術室においてもその役割を十分に果たしてきたとは思っていません。「ボンコツリーダーこそが現場の力を高める」この言葉は管理職に任命されたころに参加した研修である講師が言った言葉です。当時トレンドだった？「ボンコツリーダー論」で、ダメっぽくてどこか危なっかしいリーダーの方が現場力は上がる、という理論です（諸説あります）。不器用で看護師としても優秀とはいえない私は、この言葉に少し勇気をもらい、今でもモチベーションを持続させてくれる言葉のひとつになっています。以後、それを貫いてきたわけではないですが、チーム内では常に支えられる存在であったのは間違いなく、スタッフ一人一人が「しっかりしなくては」という思いがあって現場力が高まった部分はあると思っています。そんな私が副看護部長になって看護部全体が、「しっかりしなくては・・・」という気持ちになっていると思います。こ

れからは、支えられるではなく、少しでも現場の力を後押しできるように研鑽を重ねていきたいと思います。

当院は新型コロナの対応を見ても分かるように、どの部門にも高い現場力が備わっている病院です。それは、看護部も同じだと思っています。その力をさらに引き上げることができるように、しっかりと現場の状況に目を向ける、声に耳を傾ける、今できることからやっていきたいと思います。「忙しい中でも、あそこまで親身に関わってくれる病院は他にはない」と言ってくれる患者さんやご家族が多いという話をよく聞きます。多重業務の中で、他の施設では当たり前でないことも当たり前前にこなしている、ある意味で済生会の理念のもとに患者さんと向き合っている現場の皆さんを誇りに思っています。



部署紹介 リハビリテーション科

皆さんは「リハビリテーション」という言葉を聞いてどのような場面を思い浮かべますか？ 歩く練習だったり、関節の曲げ伸ばし、筋力トレーニングを行っている場面を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。「リハビリテーション」とは本来、治療や訓練だけではなく、予防や社会復帰するためのすべての行為を指します。そのため、病院内外でも、健康維持や増進のため知識や運動に気軽に接してもらえるように様々な健康教室などを定期的に開催しています。また、実際に家屋調査に行き安全に自立した生活ができるように介護用品や住宅改修のアドバイスや検討も行っています。更に、身体的な機能訓練はもちろんですが言語聴覚士や作業療法士による高次脳機能評価訓練も行います（高次脳機能

が損傷すると注意をはらったり、記憶・思考・判断をおこなう機能が低下したりすることがあります）。これからも個々の患者さんが、その人らしい生活を送ることができるよう、カンファレンスなどを通し他職種と連携を図り、包括的なリハビリテーションを提供していきけるように取り組んでいます。



連携病院紹介

医療法人同仁会 おおぞら病院



院長 吉田 直彦



当院は、1970年三番町に開設した吉田病院が、2015年六軒家町への新築移転を機に、おおぞら病院と改名しました。外来は、地域の町医者として総合的に診察する「かかりつけ医」機能の充実と、各種専門医による「専門外来」（糖尿病、内視鏡、呼吸器、脳神経、肝臓、整形外科、乳腺外科）の充実を図っています。病棟は、回復期リハビリテーション病棟60床、地域包括ケア病床30床、一般病棟18床の計108床です。回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中や骨折術後などの患者さんに集中したリハビリテーションを提供し、元の生活に戻れるようお手伝いしています。また、一般病棟・地域包括ケア病床では、肺炎等の内科的治療、ボトックス療法、糖尿病教育入院など、地域のニーズに応じた入院加療も行っています。手術や集中的治療が必要と判断した場合は、総合病院へ治療をお願いする事になりますが、済生会松山病院さんにはい

つも様々な患者さんをお引き受けいただき、助けていただいています。また、リハビリテーションの必要な患者さんをたくさんご紹介いただき、大変お世話になっています。この場を借りて御礼申し上げます。

これからも、当院の基本理念である『私達は、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します』の実現に向けて頑張っ参ります。今後とも、より密な地域連携を何卒よろしくお願い致します。

医療法人同仁会 おおぞら病院

診療科目 内科（一般・糖尿病・内視鏡・呼吸器・脳神経・肝臓）・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科

〒791-8555 愛媛県松山市六軒家町 4-20

TEL: 089-989-6620

診療時間（受付時間）

平日…午前 9:00～13:00（8:30～12:30）

午後 14:00～18:00（13:30～17:30）

土曜…午前 9:00～12:00（8:30～11:30）

休日

土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始・10月7日



愛媛県警察本部 「健康づくり教室」

看護療養相談室 兵頭 千恵



内科 梅岡二美 先生



価され嬉しく感じました。これからも、市民が健康に過ごせるように必要な情報を発信していきたいと思ひます。

2020年11月13日 愛媛県警察本部の依頼にて、糖尿病ケアチーム（医師・管理栄養士・理学療法士・看護師）で健康づくり教室を行ないました。アンケートに「警察官の生活にあったわかりやすい講義だった」との意見がありました。参加者の背景を知り、多職種で話し合い講義を組み立てたことが評価され嬉しく感じました。これからも、市民が健康に過

世界糖尿病デー

～病院の建物一部をブルーにライトアップ～

検査部 宮本 拓弥

2020年11月14日世界糖尿病デーに、済生会松山病院外壁のブルーライトアップを行ないました。



コロナ禍で糖尿病教室も中止されている今、「せめてブルーライトアップだけでも成功させたい」との思ひで、糖尿病スタッフは頑張りました。ライトアップ当日、宮岡院長の発案により「コロナに負けるな!」というメッセージを病院建物の壁面に投影しました。コロナに感染すれば重症化しやすいといわれる糖尿病患者さんに「頑張れ!」そしてコロナと闘う医療従事者に向けた「エール」になればと考えました。今年はコロナが収束し、またたくさんの人に当院のブルーライトアップを見ていただきたいです。

私のお気に入り

治験管理室 CRC (治験コーディネーター) 門田 由香

皆さんのご出身はどちらですか？私の出身は南予にある西予市宇和町です。盆地なので夏は暑く冬はとても寒いんです。

夏は日本の名水百選に選ばれた観音水のそうめん流しがおすすめです。ダシに甘みがあり薬味には珍しい玉ねぎのスライスが置いてあるんです。絶品ですよ！

そして、一度はチャレンジしてもらいたい宇和米博物館の「ぞうきんがけレース」です。日本一長い木造校舎の廊下（旧宇和町小学校）で109メートルあります。私の母校でもあり、当時は、それが普通だと思い学校生活



宇和米博物館（旧宇和町小学校）

を送っていましたが、今思うと貴重な建物で勉強させてもらっていたんだなと感慨深くあります。子どもから大人まで参加可能なのでぜひチャレンジしに行ってみてください。認定証とバッチャが貰えますよ！

もう一つ大好きなお店があります。同級生が大洲市でドライフラワー＆雑貨屋を営んでおります。『花の日々』。毎年、クリスマスリース&しめ飾りを購入しています。一つ一つ手作りで心がこもっていてとても素敵な物ばかりです♡頻繁には会えないけど、お店に行くといつもの笑顔で優しく出迎えてくれて、癒され、ほっとします♪今年も友達が心を込めて作ってくれたしめ飾りで新年を迎えました。

南予はいいところ沢山あるけん！皆さんも機会があれば、ドライブがてらに、お友達、ご家族、もちろん！お一人でも是非行ってみなはいやあ♪南予の方言です(^o^)/



ドライフラワーと雑貨 花の日々

令和2年度火災訓練

防火・防災管理委員会（経理課） 筒井 昭雄



初期消火訓練



避難誘導訓練



消火栓使用訓練

令和2年度火災訓練を、職員71名と松山西消防署隊員の方々の同行の下、11月21日に実施しました。例年の火災訓練は、病棟での夜間訓練を実施していますが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、診療終了後の患者さんがいない1階フロアにて行いました。南館男性用トイレからの喫煙による火災発生を想定し、通報、初期消火、患者さんの避難誘導の訓練をしました。参加した職員は、与えられた役割に対し真剣に取り組みました。消防の方からは、瞬時の避難経路の選定、対策本部の設置の重要性について総評をいただきました。また、訓練終了後には、屋上にて消火栓の使用訓練を実施しました。今回初めて使用する職員もあり、レバーの開閉や水の勢いに押され、放水するのに苦労する場面もありました。いつ何時起こるか分からない災害に対応できるように、今後も定期的に訓練を実施していきます。

♪クリスマス会開催♪

総務課 木本 薫子

12月25日に院内保育所でクリスマス会を開催しました。みんなでサンタの帽子をかぶり、音楽に合わせて音の鳴るおもちゃを振りながら歌を歌いました。楽しそうにリズムに乗っている姿はとても微笑ましく癒されました。その後、保育士サンタが登場。子どもたちはサンタを見てびっくり!! 嬉しそうにはしゃぐ子や驚いて泣き出す子もいましたが、最後はみんな笑顔になる楽しいクリスマス会でした。



免疫力を高める食事とは、「栄養のバランスと質のよい食事」をとることです。また最近では、乳酸菌や食物繊維を利用して腸内環境を整えることや、脂質の中でn-3系脂肪酸の割合を増やすこと、ビタミンCやビタミンE、セレン等をとることなども注目されています。

マグロとアボカドのわさび醤油和え

1人分 174kcal たんぱく質20.4g 脂質8.8g 食塩相当量1.4g



材料（1人分）

- ★マグロ(1.5cm角に切る) …… 70g
- ★アボカド …… 1/4個(40g)
- ★レモン汁 …… 小さじ1
- ★醤油 …… 大さじ1/2
- ★わさび …… 適量
- ★いり白ごま …… 小さじ1/4
- ★青じそ(せん切り) …… 1枚

① アボカドは皮と種を除き、1.5cm角に切ってレモン汁をかける。

② ボールに醤油とわさびを入れて混ぜ、①とマグロを入れて和える。

③ 器に盛り、ごまをふって青じそをのせる。

○ポイント

- ・マグロは良質なたんぱく質とミネラルを含み、とろ（脂身）にはn-3系脂肪酸が豊富。
- ・アボカドでまろやかな口当たりとビタミンEを加えて。

● WEB面会のお知らせ ●

当院では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、入院患者さんとの面会を禁止しています。面会できないことへのご不安や寂しさの解消に向けて、タブレット端末を使ったWEB面会を12月17日より開始しました。どうぞご利用ください。

対象病棟

3階・4階・5階病棟、地域包括ケア病棟

WEB面会日

月～金曜日の平日（但し、当院の救急輪番日とその翌日を除く）

WEB面会時間

3階・4階病棟・・・14：00～14：20

5階・地域包括ケア病棟・・・14：20～14：40

WEB面会の予約方法

- 1) 月～金曜日の平日11：00～12：00にお電話で「WEB面会の予約」とお申し付けください。
- 2) 各病棟1日1組 限定です。入院患者さん1人に対して面会の方は3人までをお願いします。
- 3) 予約当日は来院されたら、1階 面会受付にお声かけください。

タブレット端末を使用し、1階フロアにてWEB面会をしていただきます。

=== WEB面会のご予約・お問い合わせ 電話（089）951-6111（代表） ===



● 無料低額診療事業のご案内 ●

当院は社会福祉法人であり、社会福祉法第2条3項の規定により**無料低額診療事業**を行っています。下記の方は対象となる場合がありますので、**地域連携室**にご相談ください。

【無料低額とは？】

病気・けが等により、生活に困難をきたす恐れのある方、経済的理由により適切な医療を受けることができない方に対して、患者負担分の全額または一部を免除し、安心して医療を受けていただく事業です。

【対象になる方々は？】

- 生活保護基準またはそれを若干上回る方
- 市町村非課税世帯の方
- 行き倒れ、路上生活者
- DV（ドメスティックバイオレンス）、高齢者虐待被害にあっている方
- その他経済的理由により診療費の支払いが困難な方

【お問合せ先】

済生会松山病院 地域連携室 医療ソーシャルワーカー（MSW） 089-951-6111(代)

外 来 診 療 日 一 覧 表

2021年1月1日

診 療 科	診 察		月	火	水	木	金	土	備 考
内 科	午前	再 診	村 上 玉 井	岡 田 宮 本	八 木 清 水	岡 田 村 上	藤 岡 佐 藤	担当医	
		初 診		堀	八 木				
		I B D 外来	村 上		八 木	村 上 八 木		村 上 八 木	
		午後 急 患	午 後 担 当 医 (紹 介 ・ 救 急 の み)						
	甲状腺・ 糖尿病 センター	午前 糖 尿 病	堀 金 本	宮 岡 梅 岡	宮 岡 堀	梅 岡 山 田	宮 岡 梅 岡		
午前 甲 状 腺	渡 部								
腎臓内科	午前 初 診 ・ 再 診				西 村			午後は予約のみ	
	午後 予 約				西 村				
循環器内科	午前	初 診 ・ 再 診	渡 辺 門 田	佐 伯 初診担当医	中 尾	渡 辺 仁志川	佐 伯 初診担当医	担当医	予約のみ
		心臓リハビリ (予約のみ)			佐 伯	佐 伯	末 廣		
	午後	急 患	午 後 担 当 医 (紹 介 ・ 救 急 の み)						
		予 約 禁煙外来(予約)	渡 辺			渡 辺 渡 辺			予約制
呼吸器内科	午前						川 上		
心臓血管外科	午後	初 診 ・ 再 診	西 村 (第1・3週)						受付 13：30～16：30
脳神経内科	午前	初 診 ・ 再 診	矢 部	矢 部 細 川	宮 上 吉 田	矢 部	宮 上	矢 部	※土曜予約のみ
	午後	物忘れ外来	矢 部						予約制
		パーキンソン病外来					宮上		予約制
放射線科	午前	初 診 ・ 再 診		山本昌	山本昌				
健診センター	午前		梅 岡	沖 田	担当医	山本昌	山 岡		
	午後		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		
外 科	午前	初 診 ・ 再 診	小 坂	田中仁 新恵	安 岡	田中仁 小 坂	安 岡	担当医	
	午後		手 術	検 査	手 術	検 査	手 術		
乳腺外来	午前	初 診 ・ 再 診					青 木		受付8：30～11：00
呼吸器外科	午後	初 診 ・ 再 診					担当医		〈呼吸器外科外来〉 13：30～16：00
整形外科	午前	初 診 ・ 再 診	井 関 河 野	田 窪 井 関	田 窪 河 野	井 関 河 野	田 窪 石 橋	担当医	
				石 橋	石 橋				
脳神経外科	午前	初 診 ・ 再 診	楠 畠 山	古 川 田中寿	楠	畠 山 田中寿	楠 古 川	担当医	
			急 患	午 後 担 当 医 (紹 介 ・ 救 急 の み)					
	午後	頭痛外来(予約) SAS外来(予約) 禁煙外来(予約)		田中寿		田中寿			予約制
			検 査	検 査	手 術	手 術	検 査		
			帆 足	帆 足	帆 足	帆 足	帆 足	帆 足	帆 足
泌尿器科	午前	初 診 ・ 再 診	白 戸		横 山	佐 伯	白 戸	新 井 佐 伯	※火曜日は予約のみ ※午後は予約制・急患のみ
					新 井		雑賀 (第1・3・5週) 横山 (第2・4週)		
			横山	宮 内 (第1・3・5週) 西村 (第2・4週)		白 戸			
	午後		手 術	手 術	検 査	検 査	検 査		
眼 科	午前	初 診 ・ 再 診	高 橋	高 橋	高 橋	高 橋	高 橋	高 橋	午後は予約制
	午後	予 約	検 査	検 査	手 術	検 査	検査		
皮 膚 科	午前	初 診 ・ 再 診	緑 川	緑 川	緑 川	緑 川	緑 川	佐 山 (第1週) 吉 田 (第3週)	
				河 野					
形成外科 (皮膚腫瘍)	午前	初 診 ・ 再 診	三 宅	三 宅	三 宅		三 宅	三 宅	予約・手術のみ
	午後		手 術	手 術	手 術		手 術		
耳鼻咽喉科	午前	初 診 ・ 再 診	勢 井		担当医	担当医			

* 平日……………受付時間 午前11:30迄(整形外科 午前10:30迄)
 * 第1・3土曜日午後休診 …… 受付時間 午前10:30迄(※第2・4・5土曜日は休診)
 * この表は随時変更することがあります。



済生会 まつやま

第57号
 発行人 宮岡 弘明 令和3年1月発行
 発行所 〒791-8026 松山市山西町880番地2
 社会福祉法人 済生会松山病院
 TEL: 089-951-6111
 FAX: 089-953-3806

本誌へのご要望・ご感想 募集

本誌に関する要望、感想等を募集しております。お気付きの点などありましたら、病院1Fロビー中央に設置している意見箱へお入れください。みなさまからのご意見、お待ちしております。

院内誌編集委員会

表紙写真撮影: 総務課 筒井 早紀